

— エモクロアTRPG —



コイントス

あのとき、あなたは左手を選んだ。



プリプレイ情報

イントロダクション

「あのときの選択は本当に正しかったの？
もしも違う方の手を選んでいれば、あなたはもっと幸せだったはず」

気がつくと、目の前には一人の女性がいる。
あなたの幼馴染であり、交際に至った人物だ。

彼女は大粒の涙を流しながら、じっとあなたを見つめている。
あなたは彼女に背を向けてドアを開け、雨の中を走り出す。

気がつくと、目の前には先ほどとは異なる女性がいる。
あなたの初恋の相手であり、交際には至らなかった人物だ。

どうやら彼女は左手の薬指に指輪をしているようだ。
あなたの視線に気づいたのか、指輪に軽く触れ、それからごまかすように笑う。

「そうだよ、私、結婚するんだ。
そういえばあの時のこと覚えてるかな。そう、コイントス。
確か君は、左手を選んだでしょう」

彼女はそう言って、小さく息を吸う。

「でももし右手を選んでたら、私達どうなってたのかな。
そんなこと、人生をやり直しでもしない限り分からないんだけどさ」

彼女はそう言って、あなたに笑いかける。
あなたは彼女に背を向け、再び雨の中を走り出す。

しかしクラクションの音とともに、体に強い衝撃が走る。
救急車のサイレンの音、周りの悲鳴、そして雨音がなぜか耳に残る。
視界がぼんやりと歪む中、コツコツという革靴の音とともに誰かが近づいてくる。

「あなたに、やり直すチャンスをあげましょう」

まるで少年のようなその声は、脳内に直接語りかけるようだ。
目の前は真っ白になり、そして意識を失った。

シナリオについて

(1) シナリオの詳細

人数:PL 1 人

プレイ時間：3～5 時間

タグ：初心者向け

(2) 注意事項

***下記の事項は、よくお読みください。**

このシナリオの中では、複数の NPC などからお願いや依頼、あるいは命令をされることもあるかもしれませんが、それを聞くも聞かないも、すべて PC に一任されます。この物語の主人公は、PC 自身です。それぞれが自分の信じる判断を行ってください。

早い段階でディーラーに共鳴者の設定を提出し、目を通してもらってください。ディーラーに修正を要求された場合、その指示に従うようお願いいたします。ゲームの進行上で起こる不具合が起こる可能性がございます。

基本的に共鳴者は一定の良心を持った人間である方が、ストーリー上の破綻がなくなるかと思われます。事前に NPC との間の設定を考える際には、ディーラーとよく話し合って決定してください。

(3) 共鳴者の設定

- ・ 共鳴者は日本に住む 20 代～30 代前半の男性である。
- ・ 共鳴者は NPC1 と数年間交際していた記憶がある。
- ・ 共鳴者にとって NPC2 は初恋の女性であったが、交際した記憶はない。

(4) 追加で記述すべきこと

- ・ 共鳴者が NPC1 と交際した理由/好きになった理由を記述する。
- ・ 共鳴者が NPC2 のことを好きになった理由を記述する。

(5) NPC についての情報

NPC 1 : あなたが選んだ女性

あなたが覚えている女性の1人。身長は低く小柄な女性であり、可愛らしい人だという印象を受ける。彼女とは交際した経験があり、それから些細なことをきっかけに喧嘩した。交際する前は、友人であり幼馴染だった記憶がある。

NPC 2 : あなたが選ばなかった女性

あなたが覚えている女性の1人。身長は高く整った顔立ちの女性であり、綺麗な人だという印象を受ける。彼女は初恋の人であったことが断片的な記憶として残っている。

(6) 推奨技能

直感・観察眼・幸運・知識・危機察知・スピード